

研究課題名	小児麻酔における経口ミダゾラム前投薬の投与時期の検討
研究期間	実施許可日 ～2025年3月31日
研究の対象	2015年4月～2019年5月の間に広島大学病院で小児の予定手術において経口ミダゾラム前投薬を投与された小児全症例。
研究の目的・方法	研究目的：麻酔導入が円滑にできる程度に鎮静され、覚醒に影響を及ぼさないようにするのに適切なミダゾラムの投与時期を検討し、患児の術前不安の軽減に役立てます。 研究の方法：研究対象者の診療録（カルテ）内にあるデータを使用して、回復期の看護時の満足度、術後副作用について検討、検証します。
研究に用いる試料・情報の種類	本研究は、診療録（カルテ）情報を調査して行います。 カルテから使用する内容は、年齢、性別、身長、体重、病名、術式、経口ミダゾラム投与時期、導入時の鎮静状態、麻酔導入時間、手術時間、麻酔時間、術後覚醒状態、術後興奮状態などであり、得られた情報を用いて今後の対策を検討します。 （個人を特定可能な情報は解析に用いません）
外部への試料・情報の提供	本学単独研究で外部への提供はありません。
利用または提供を開始する予定日	本学における実施許可日（2019年7月22日）以降
個人情報の保護	試料・情報は解析する前に、氏名・生年月日・住所等の特定の個人を識別できる記述を削除し代わりに研究用の番号を付け、どなたのものか分からないようにします。
研究組織	本学の研究責任者 広島大学大学院医系科学研究科麻酔蘇生学 教授 堤 保夫
研究への利用を辞退する場合の連絡先・お問合せ先	研究に試料・情報が用いられることについて、研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合は、研究対象としませんので下記の連絡先までお申し出ください。なお、お申し出による不利益が生じることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されている場合には、提供していただいた情報や試料に基づくデータを結果から取り除くことが出来ない場合があります。なお公表される結果には、特定の個人が識別できる情報は含まれません。 また、本研究に関するご質問等あれば下記連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報等の保護や研究の独創性確保に支障がない範囲内で、研究計画書および関連書

類を閲覧することができますので、お申し出ください。

広島大学病院 麻酔科

担当者：野田 祐子

〒734-8551 広島県広島市南区霞 1-2-3

電話番号：082-257-5267